



議会だより

# かたしな

発行 片品村議会

No. 142

2014.10.20



平成26年度の片品小学校の運動会（9月6日、土出）

## 主 な 内 容

- ◆平成25年度一般会計・特別会計決算認定…………… 2～3
- ◆平成26年度一般会計・特別会計補正予算…………… 4
- ◆一般質問（3名）で村政を問う、各委員会審査…………… 5～9
- ◆交流会、村民の声、議会活動…………… 10～12

## 平成25年度一般会計決算

歳入決算額	44億2,002万円
歳出決算額	41億484万円
繰越明許費繰越額	3,058万円
事故繰越し繰越額	219万円
実質収支額	2億8,241万円

## 内 訳

基金へ繰入	1億5,000万円
平成26年度予算へ繰越	1億3,241万円

年度末村債（借入金）現在高	30億9,659万円 (前年度比1億3,439万円増)
年度末基金（預金）残高	18億7,323万円 (前年度比8,169万円減)

平成26年第6回片品村議会定例会が、9月4日（11日までの8日間にわたり開催されました。「平成25年度一般会計及び特別会計の決算認定」「平成26年度一般会計及び特別会計の補正予算」「条例の一部改正」「指定管理者の指定」「片品村振興公社の経営状況の報告」「片品村名誉村民の推挙」「手話言語法制定を求める意見書」等が提案され、いずれも原案どおり可決しました。

## 平成25年度特別会計決算

会計名	歳入決算額 (一般会計から繰入)	歳出決算額	翌年度繰越額	翌年度繰越額の内訳	
				基金繰入金	H26年度予算へ
国民健康保険	8億5,625万円 (1億5,495万円)	7億6,139万円	9,486万円	4,800万円	4,686万円
簡易水道事業	9,762万円 (1,824万円)	8,975万円	787万円	0	787万円
介護保険	5億200万円 (8,296万円)	4億9,205万円	995万円	0	995万円
下水道事業等	1億312万円 (7,948万円)	9,828万円	484万円	0	484万円
後期高齢者医療	5,566万円 (2,161万円)	5,420万円	146万円	0	146万円
合計	16億1,465万円 (3億5,724万円)	14億9,567万円	1億1,898万円	4,800万円	7,090万円

観光施設事業	収入 (一般会計からの補助金)	支出	利益
収益的収入・支出	1億917万円 (7,644万円)	1億1,706万円	△789万円
資本的収入・支出	1億7,400万円 (0)	2億783万円	0

\* 収益的収入・支出については税抜きの金額です。収支差は、法律に基づき現金の支出を伴わない雑支出計上のためです。

\* 資本的支出はスキー場施設建設改良費、他会計借入金の償還で支出の不足分3,333万円は留保資金で補填しました。なお、他会計借入金残は2億9,250万円です。

## 借入金・預金の現在高

	年度末村債他（借入金）現在高	年度末基金（預金）現在高
国民健康保険	0	1億1,349万円
簡易水道事業	2億203万円	2,790万円
介護保険	0	3万円
下水道事業等	4億3,068万円	0
合計	6億3,271万円	1億4,142円

	年度末借入金現在高	留保資金
観光施設事業	4億6,650万円	8,977万円

## ワンポイント解説

## 留保資金

現金の支出を必要としない経費で、具体的には減価償却費などが留保された資金です。

## 監査委員の審査意見

- ▶平成25年度の村債は4億5,440万円で、主に消防施設整備、塗川橋下部工、戸倉・富士見下線整備、除雪機械購入、武尊牧場内道路改良、片品小学校改築設計委託などの他、福祉医療費支給事業等のソフト事業に充当されている。
- ▶村税の収納率は65.4%で前年度より3.3ポイント減、収入未済額は3億38万円と前年度より3,214万円増額で、固定資産税の増が主なものである。その未収入額について、今後早急な対応が必要である。
- ▶地方交付税は20億6,620万円で、前年度より160万円減額となり、歳入総額の46.7%を占めている。
- ▶国民健康保険税の収納率は80.3%、一人あたりの診療費は176,720円(年間)で、前年度より3万1,901円減っている。  
被保険者の高齢化等による医療費の増大や収納率の低下など非常に厳しい運営が予想される。
- ▶水道料の収納率は62.8%、一人あたりの1日平均給水量は、375ℓ、堅実な運営を図るために未収金の解消に努力されたい。
- ▶下水道への加入率は55.9%と依然低く、適切な対応を望む。
- ▶職員の資質向上を図り、住民の期待に応える行政執行がなされるよう一層の努力を希望したい。

## 片品村振興公社(株)の経営状況の報告

公社の総売上 3億2,808万円  
村としての益金 406万円  
公社税引後当期利益額 27万円

### 事業概要

#### ▶ 花の駅・片品「花咲の湯」

入込客数 146,350人  
(村外利用者119,926人、81.9%)  
売上金額 2億265万円  
仕入代金 7,905万円  
販売管理費及び公社手数料 1億2,035万円  
益金 325万円

#### ▶ 寄居山温泉

入込客数 39,080人  
(村外16,697人、42.7%)  
売上代金 1,567万円  
仕入 208万円  
販売管理費及び公社手数料 1,206万円  
益金 152万円

#### ▶ 旅行部

年間受入人数 5,443人(延べ13,493人)  
売上金 6,353万円  
仕入代金 5,217万円  
販売管理費及び公社手数料 2,299万円  
益金 △1,163万円(村委託金対応)

#### ▶ かたしなや

売上 4,622万円  
仕入 2,008万円  
販売管理費及び公社手数料 2,685万円  
益金 △71万円(公社売上金対応)

## 財政の健全化判断比率の報告

(単位：%)

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
H25年度	—(赤字0)	—(赤字0)	7.4	—
早期健全化基準	15	20	25	350

\*片品村のそれぞれの比率については早期健全化基準に該当せず、大変良好な比率となっています。

### ワンポイント解説

#### 実質公債費比率

村の税金等、毎年決まって入るお金に対して、借金返済額がどの程度の割合になるかを示す指標です。

\*数値は小さいほどより健全です。

## 片品村の公営企業の資金不足比率

特別会計の名称	資金不足比率	備考
観光施設事業特別会計	—	資金不足なし
簡易水道事業特別会計	—	資金不足なし
下水道事業等特別会計	—	資金不足なし

### ワンポイント解説

#### 資金不足比率

資金不足による経営状況の悪化の度合いを示す指標です。

\*資金不足が無い場合は「—」表示、20%以上は経営健全化計画を定めなければなりません。

## 平成26年度9月補正

(単位：千円)

会計名	歳入歳出補正前	補正額	補正後
一般会計	4,200,457	161,158	4,361,615
国民健康保険	848,826	41,856	890,682
簡易水道	87,800	6,866	94,666
村営観光施設	102,240	2,800	105,040
介護保険	507,054	9,718	516,772
下水道事業等	121,520	3,830	125,350
後期高齢者医療	58,561	955	59,516

## 主な一般会計補正

(単位：千円)

歳入		歳出	
地方消費税	△17,000	民生費	△10,958
地方交付税	105,358	農林水産費	9,070
国庫金支出	33,858	土木費	56,005
県支出金	7,342	消防費	10,355
前年度繰越金	82,410	教育費	89,532
村債	△51,060	(うち国体費)	(38,885)

## 条例の一部改正・変更

## 片品村税条例の一部改正

法人税率の一部が改正されたことに伴い  
条例の一部を改正。【全員賛成】

片品村営スノーパル・オグナほたか  
施設利用料徴収条例の一部改正

消費税率の改定に伴う施設利用料金の改正。  
【全員賛成】

## 指定管理者の指定

片品村営スノーパル・オグナほたかについては、現在の指定管理者である、武尊山観光開発株式会社が引き続き管理することが望ましいと考え、指定管理をお願いします。

期間は平成26年10月1日から平成31年9月30日の5年間とする。【全員賛成】

## 片品村名誉村民の推挙について

尾瀬の環境保全や地域活性化に貢献されているため、吉川廣和氏（埼玉県さいたま市）を推挙。【全員賛成】

## 第7回臨時会

10月7日、第7回臨時会を開催。  
工事請負契約（2件）の締結について、  
原案のとおり全員賛成で可決しました。

## 工事請負契約

- ▶ 契約の目的 村道新井・伊閑町線  
三松橋 長寿命化対策工事
- ▶ 契約の方法 指名競争入札による契約
- ▶ 契約金額 1億1,988万円
- ▶ 契約の相手方 光井工業株式会社
- ▶ 工期 契約の日から  
平成27年3月31日まで

## 工事請負契約

- ▶ 契約の目的 片品村立片品小学校改築工事
- ▶ 契約の方法 指名競争入札による契約
- ▶ 契約金額 10億6,704万円
- ▶ 契約の相手方 沼田・司・角田  
片品村立片品小学校改築工事  
特定建設工事共同企業体
- ▶ 工期 契約の日から  
平成27年12月31日まで

## 請願審議結果

9月定例会において審議された請願は、下記のとおり決定しました。

受理年月日	件名	請願者	付託委員会	審議結果
平成26年 8月19日	日本を再び戦争する国にする「集団的自衛権行使容認」の閣議決定の撤回を求める意見書提出を求める請願書	利根沼田戦争をさせない実行委員会 沼田市坊新田町1106番地（事務局） 実行委員長 木村朝次郎 他19名	総務文教 常任委員会	継続審査
平成26年 8月25日	手話言語法制定を求める意見書の提出を求める請願書	利根郡みなかみ町西峰須川 688-2番地 利根沼田聴覚障害者協会 会長 本多健三郎	総務文教 常任委員会	採択

## 村政を問う!

## 一般質問



星野 千里 議員

富岡製糸場が世界文化遺産に登録され、養蚕関係に関心が集まっているなか、村の重要文化財に指定された「永井流養蚕伝習所実習棟」の保存と活用について

**問** 長年の風雪で施設が傷んでおり、改修の必要性が痛感されるが、その対策は。

**答** (教育長) 今年7月に、村の重要文化財に指定されました。

**Q** 改修の必要性があるが、その対策は？

**A** 管理・修理は所有者が行うものだが、特別な事由なら村が補助できます

村の文化財保護条例では、管理または修理復旧については、所有者が行うものと規定されています。ただし、特別な事由がある場合は村が補助できます。

**問** 大切な資料が保存されているが、保存や展示のための資料館を考えているのか。

**答** (教育長) 文化財は未来へ伝え残されるべき大切なものと考えており、他の民族歴史資料と合わせて所有者や地元の方々の意見を聞きながら保存については検討していきたいと考えています。

**問** 資料をデジタル化しての保存やインターネットを利用しての情報発信について考えは。

**答** (教育長) 文化財めぐりパンフレットを作成し大変好評を得ており、電子版では村のホームページに文化財を紹介しています。本施設についても新たにここにアップするとともに、今の時代に合ったものに工夫を凝らしていきたいと考えています。

永井紺周郎・いと功績の発信と資料保存について



富岡製糸場伝道師協会が養蚕伝習所を訪問 (9月16日)

**問** 施設周辺には村の指定文化財である「針山の天王ザクラ」・「穴観音と蚕稻荷神社」が隣接しているので、歴史観光エリアとして発信できると思うが、村として整備や活用については。

**答** (村長) 世界遺産登録準備段階で、ぐんま絹遺産に養蚕伝習所を県に申請しまし

**Q** 永井流養蚕伝習所を含めた歴史観光エリアとしての整備・発信は？

**A** 地元や地域、文化財調査委員、村内有志の考えを伺いながら検討したい

たが登録になりませんでした。地域資源に気づき磨き高めることが必要だと感じています。

歴史観光エリアの整備活用については、養蚕伝習所実習棟の正しい保存等が必要であり地元や地域の方、文化財調査委員や村内有志の皆様の考えを伺いながら検討していきたいと思えます。

**問** 紺周郎・いとの研究をした方々に対してのサポートや協力が必要と思うが。

**答** (村長) 養蚕伝習所は7月に村の重要文化財に指定されました。文化財は教育委員会が担うことになっていきますので、必要な対応は教育委員会において処理されるものと思います。村としては教育委員会の要請に応じて可能な限り協力していく考えです。



星野 精一 議員

### ■ 村名の変更について

**問** 日本創世会議の提言では、2040年に約半数の自治体が消える可能性があると思われている。認識を聞きたい。

**答** (村長)

重大な問題であると認識しており、平成20年度から第三子以上の出産祝い金30万円の支給、平成25年度からは2歳児以上の園児の保育料を無料化、2人目以降の学校給食費を免除、など少子化対策並びに子育て支援を実施し、人口減少を抑える対策を講じたところです。

**Q** 本村が輝き続けるために、村名の変更をすべきでは？

**A** 村名変更は有意義な方法と考えますので、住民の意識調査を行います

**問** 村の力を保ち続けるために選択と集中が必要であり、観光と農業で食べていくという再認識と決意が不可欠と思うが。

**答** (村長)

新しい総合計画でも、農業と観光は村産業の基軸と考えており、村の力を保ち続けるためにも、重要なことと認識しています。

**問** 片品の農業は半年しかできない。高付加価値農業を展開する必要性があると思うが見解を聞きたい。

**答** (村長)

トマト生産のような高付加価値集約型の農業を推進することは大切なことと考えています。本年4月に、農業と観光の連携した取り組みを推進するため、片品村農業観光活性化推進委員会を立ち上げました。

**問** 3つの谷の特性を生かした観光行政は推進するべきだが、全国から見た片品村の認識は尾瀬の郷だとしっかりと位置づけるべきではないか。

**答** (村長)

「尾瀬は知っているが片品は知らない」と多く聞きます。全国ブランドの尾瀬を活用した尾瀬の郷という位置づけをさらに広める必要性は感じているところです。

**問** 我が村が小さくても輝き続けるためには、村のブランド化が不可欠であり、村名の変更を戦略的にすべきでは。



広報かたしなの表紙

**Q** 桧枝岐村に「尾瀬」入りの村名の変更を呼びかけるべきでは？

**A** 村民の意識調査の結果を踏まえて、桧枝岐村と連絡を取り合いたい

**答** (村長)

知名度アップや村のブランド化のためにも、村名の変更は有意義な方法の一つと考えられます。村名は、文化・風土・愛着・村の成りたちなどが決定していると思えます。最も大事なことは、住民の愛着や村名への思いと考えますので、村民の意向調査は重要であり、今後、第4次総合計画を策定するにあたり住民の意識調査を行う予定です。

村名の変更についても、住民の声を伺ってまいりたいと考えております。

**問** 歴史的なつながりの深い桧枝岐村に村名の同時変更を呼びかけ、文化・観光などの連帯性を共有すべきでは。

**答** (村長)

村民の意識調査の結果を踏まえた上で、桧枝岐村と連絡を取り合いたいと考えております。



片品村史の見開き



片品の百年の表紙



星野 育雄 議員

### 特別養護老人ホーム及びグループホームの建設について

**問** 片品村内に特別養護老人ホーム及びグループホームの建設希望を出している社会福祉法人はあるか。

**答** (村長)

特別養護老人ホーム桜花苑から第6期介護保険事業計画の3年間の期間中に特別養護老人ホーム及びグループホームの増設及び建設の予定をしたという説明がありました。したが、現時点では他の社

会福祉法人からの建設希望の話は聞いておりません。  
**問** 第6期介護保険事業計画の中に、特別養護老人ホーム及びグループホームの建設計画を策定するか。

**答** (村長)

県や関係機関と協議しながら、総合的に勘案し策定していきたいと考えています。

**問** 特別養護老人ホーム及びグループホームの建設を実現するために、今後、国、県の補助枠確保をどのように進めて行く考えか。

**答** (村長)

施設建設が具体化すれば、国・県の補助枠の確保について村が対応できることはしっかりと行っていききたいと考えます。

**問** 社会福祉法人が特別養護老人ホーム及びグループホームを建設する場合、村は建設用地確保や建設費用の助成をする考えはあるか。

**答** (村長)

団体からの要望に応じて、村が対応できることはしていきたいと考えます。

**問** 一人暮らしし老人対策として、村は何か考えていることがありますか。

**Q** 村が考える一人暮らしし老人対策は？  
**A** 教職員住宅の一部を高齢者一人暮らし用に考えています

**答** (村長)

教職員住宅は、片品村内に於いては比較的好位置に立地していますので、その一部を「高齢者一人暮らし用」に使えるように考えております。限られた部屋数ですので、入居資格、条件等の調整等、

**要望**

今後検討課題もあります。ができるだけ安価で使ってもらえるよう進めてまいります。  
村を挙げて老人福祉の拡充に取り組んでいきたい。

**Q**

村内に特養ホーム・グループホームの建設希望が出ているか？

**A**

桜花苑から特養ホーム等の増設・建設予定の説明がありました



敬老会記念写真

# 討議しました

## 総務文教常任委員会

### 協議事項

一、請願について

【第2号】

日本を再び戦争する国にする「集団的自衛権容認」の閣議決定の撤回を求める意見書提出を求める請願書

意見

国防及び外交は、国が行うものであり法改正など複雑な問題がある。今後の国会審議を見守りながら継続審査とする。

【第3号】

手話言語法制定を求める意見書の提出を求める請願書

意見

手話を言語として普及、研究する環境整備の法整備が必要と思われるので全員賛成で採択とする。

二、補正予算について

問 片品中学校が大規模改修から全面改築に変わったのか。

答(教育委員会事務局長)

耐力度調査を行った結果、文科省の補助を受けられる方向になりました。

問 今年度中の基本設計は可能か。

答(教育委員会事務局長)

現場の状態や職員の意見などを聞きながら拙速にならないように行っていききたいと考えています。

問 小学校・中学校の建て替えで、今の5、6年生は

ずっと仮住まい的な状態で教育を受けることになるが。

答(教育長)

6年生は新校舎には入れませんが、5年生の卒業式を新校舎で行うか検討いたします。片中学校建設は基本計画を関係者等を含めて立てていきたいと考えています。

三、所管事務について

問 防災計画の中で避難指示の発令基準は。

答(総務課長)

片品村防災計画にあります。平成24年度に改正しました。内容については村のホームページで見ることができます。

意見

片品村には、360カ所警戒区域というのがあり、ということなので、早めの発

令といえますか、発令基準の再度の見直しと新基準との整合性をお願いしたい。

問 救急車の出勤回数が増加しているが。

答(総務課長)

広域消防に聞いたところ、尾瀬でのけが人の救助が増加の原因と思われます。村民の救急時のことを考慮し対応をする必要があると考えています。

問 永井紺周郎・いと旧養蚕伝習所が村重要文化財指定されたことをホームページでPRを。

答(教育委員会事務局長)

村の文化財巡りにアップします。

問 国体準備の進捗状況と夏場のクロスカントリーコースの使用状況は。

答(国体事務局長)

クロスカントリーは圧雪車の車庫、進入路、ジャンプはアプローチ、ランディングバーンの整備を進めています。宿泊、輸送は観光協会に委託し、仮宿泊とシャトルバスの運行表を作成しているところです。使用状況につきましては、夏場は県内の大学陸上部や各

県の選手団が下見と練習を兼ねて訪れています。

問 シャトルバスの運行については再考した方が良いという意見も聞いているが。

答(国体事務局長)

現在、来会調査を実施していますので、その結果をふまえて検討したいと考えています。

報告(保健福祉課長)

来年度、子育て支援法によって、保育時間を午前7時30分から午後6時30分までの延長を検討しています。保護者に若干の保育料の負担を検討しています。



片品中学校校舎(鎌田)



# 委員が慎重に

## 観光産業常任委員会

### 協議事項

一、所管事務について

**問** し尿処理の現状はどうなっているか。

**答** (農林建設課長)

今は、沼田市に頼っていますが、それを自前で処理できる方向で検討をしているところです。

**問** この夏の観光客の入り込みはどんな状況か。

**答** (むらづくり観光課長)

村内全体の集計は出来ていませんが、尾瀬のお客さんはだいたい二割前後減つ



低公害車両の試験運行 (戸倉)



花咲クリーンセンター (花咲)

ていると思います。消費税、高速道路の料金、長雨などが要因と思われます。

**問** 二つ以上の県をまたいで市町村が同じ目的を持ち観光客を増やしていく「広域観光圏」を具体化すべきではないか。

**答** (むらづくり観光課長)

尾瀬を核とした様々な組み合わせを広域的に展開する必要を感じています。

**問** 一ノ瀬〜大清水の間の社会実験の今後の展開は。

**答** (むらづくり観光課長)

今、試験をやりながら実用化に向けていろいろと検討をしています。



クマの檻 (越本)

**問** 檜枝岐と片品の未供用部分、金精峠の年間開通を、どう認識するのか。

**答** (村長)

401号線については、整備改良促進ということで既存の道路整備を含めて息長く、諦めずにやっていく必要があると思います。金精峠の年間開通については、両県がよしやろうという環境をつくるのが先決だと思います。

**問** 獣害、特にクマ対策はどう対処しているのか。

**答** (農林建設課長)

機会があることに防災無線などで周知しております。また、猟友会とも連絡を密にとつて対応していきますのでよろしく願います。

**問** 武尊牧場のキャンプ場から北側の駐車場まで、道路を造る予算を取ってあるが、今後どういうふうを考えているか。

**答** (村長)

関係機関と今後調整して、時間はかかるかもしれませんが整備していく必要があると思います。

# 檜枝岐村議会との交流会



自然保護官の講演（土出）



401号線の現地視察（戸倉）

9月18日～19日に慣例の檜枝岐村議会との交流会が片品村で行われました。

今回の特徴は檜枝岐村議会の全議員が沼山峠から尾瀬沼を經由して大清水まで徒歩で来たことでしょうか。

車を使えば、栃木県経由で約170km、5時間ほどのところを尾瀬沼経由で歩けば約50km、5時間ほど。この両方をきちんと体験することが“近くて遠い村”からの脱却につながると思えます。

檜枝岐の皆さんには大清水～ノ瀬間の社会実験車両に乗っていただいた後に両村議会で401号線の現地視察を行いました。

その後、岩鞍リゾートホテルにおいて、環境省片品自然保護官事務所の牧野自然保護官から、シカの食害の現状と対策についての講演がありました。この問題については、両村とも危機感も強く、その後の質疑応答も活発に行われました。

現在、本村は様々な自治体と兄弟つきあいをさせていただいておりますが、檜枝岐村との歴史の深さを実感できた交流会であったことを報告いたします。

## 片品村議会が目黒区民まつりに参加！

片品村議会は、都市との交流を進める特別委員会の一環で、9月14日（日）開催の、第38回目黒区民まつりに参加して、むらづくり観光課職員3名の協力を得ながら、観光農業の目玉であるトマトとトウモロコシの販売を通じ、またぐんま冬国体が間近の、片品村を知っていただくようPRに努めてきました。

一日で5万人の来場者とも言われるこの祭りでは、東日本大震災からの復興に尽力する気仙沼市からの5,000匹のさんまが焼かれ食べて貰うということで、そのさんまを食べるのに朝早くから大勢の方々が並び、最後尾の方が食べるのに4時間掛かるほどでした。

片品ブースでは「知っているかい片品アンケート」を実施しました。調査対象人数は200人で、次のとおりでした。

- 片品村を知っている・・・→ **52%**
- 片品村に行ったことがある・・・→ **33%**
- 片品村に行きたいと思う・・・→ **60%**
- 尾瀬を知っている・・・→ **92%**
- 尾瀬に行ったことがある・・・→ **42%**
- 尾瀬に行きたいと思う・・・→ **92%**
- 片品のスキー場を知っている・・・→ **41%**
- 片品のスキー場に行ったことがある→ **29%**
- 片品のスキー場に行きたいと思う→ **53%**

また目黒区民まつりに参加した他の自治体や関連団体へのアンケート調査も行いました。

今回の参加で得た経験やアンケートをもとに、目黒区との交流が盛んになるよう努力していきたいと思っております。今後とも関係者のご協力をお願いしまして報告といたします。（委員長 入澤登喜夫）



5,000匹のさんまを焼く様子



片品コーナーの前

# 村民の声



議会広報編集特別委員会は、9月28日(日)、片品村収穫祭にて、「議会だより・かたしな」と広報活動に関するアンケート調査を村民100名限定で実施しました。その結果、議会だよりへの関心は高いうえ、さらなる誌面の充実が望まれ、かつ双方向交流が可能な広報活動が期待されていることが分かりました。

まずは「議会だよりを読んでいますか？」の三択質問には、「いつも読む」65%、「たまに読む」29%、「全く読まない」6%の回答でした。読んだ感想については、多い順から「ためになる」43%、「興味深い」30%、「あまり面白くない」9%、「工夫が必要だ」7%、「面白い」5%でした。読まない理由は、「面白みがない」1%、「関心がない」1%、その他「知らなかった」1%と、無回答3%でした。

次に「議会だよりの今後に期待したいですか？」には、「大いに期待したい」59%で、「少し期待したい」34%、一方、「あまり期待しない」6%、「全く期待しない」1%となりました。

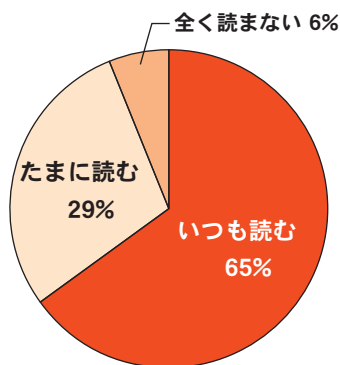
「期待したい点」では、「案件の進ちょく状況」が一番多く、次に「ワンポイント解説」「村民の声」「読みやすさ」と続きました。「期待しない点」では、内容が「分かりにくい」「古い」「身近に感じない」などで、いずれも少数意見でした。

その上で「議会の広報活動で期待したいことは？」の質問には、「議会だよりの充実」が期待度最大で、「インターネット活用」「集落へ出前説明会」「現状でイイ」へと続きました。

年四回発行の議会だよりに対して、率直な意見が得られましたので、今後の議会広報編集活動に生かしていきたいと思えます。

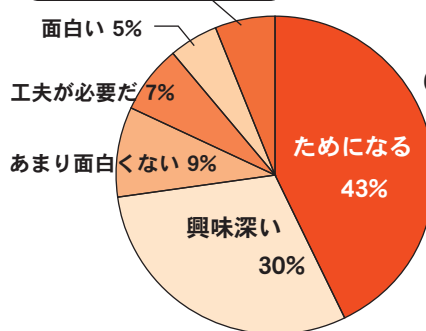
なお、回答者の内訳は、男女比が4対6で、世代横断型の年齢区分となりました。1%は1名ということです。  
(委員長 戸丸廣安)

Q: 議会だよりを読んでいますか？

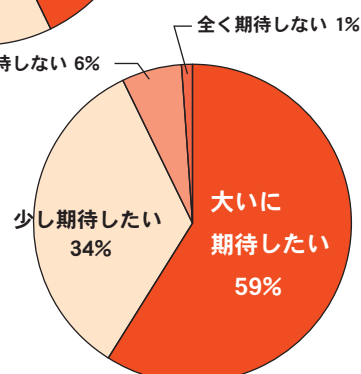


Q: 議会だよりを読んだ感想は？

読まない…面白みがない 1%  
関心がない 1%  
知らなかった 1%  
無回答 3%



Q: 議会だよりの今後に期待したいですか？



**片**品村収穫祭は、第二回となり、本格的なものへと様変わりしました。念入りな準備の成果とも言えましょう。一日中好天に恵まれたことも手伝って、6,000人を超える来場者(主催者発表)があり、笠科神社の境内は賑わいました。

議会としては、上記のアンケート調査実施と共に、2015年2月のぐんま冬国体支援の半袖シャツなどのグッズ販売を行いました。また国体宣伝用のクリアファイルやウエットティッシュなどの配布を通じて、冬季国体へのご理解・ご協力を求めました。



開始前の全体写真



開会式

## 議会活動日誌

### 8月

- 5日 給食センター、観光施設、上下水道、国保、介護の各委員会
- 8日 議員会
- 21日 国道120号線整備改良期成同盟会総会
- 22日 議会運営委員会、議会全員協議会

### 9月

- 4日 議会運営委員会
- ” 第6回議会定例会（9月議会）開会、決算説明
- 4日～5日 決算・補正予算説明会
- 6日 村内各小学校運動会
- 8日 総務文教・観光産業常任委員会
- 11日 議会運営委員会
- ” 第6回議会定例会（9月議会）閉会、議員会
- 12日 片品中学校体育祭

### 9月

- 14日～15日 目黒区との交流会  
(目黒区民まつり片品村コーナー出展)
- 18日～19日 檜枝岐村議会との交流会
- 22日 議員会
- 26日 北保育所運動会
- 27日 片品保育所・南保育所運動会
- 28日 第2回片品村収穫祭  
(議会コーナー出展)

### 10月

- 2日 片品村敬老会
- 4日 第56回村民運動会
- 7日 議会運営委員会
- ” 第7回議会臨時会
- ” 大洗町との友好都市協定調印式
- 8日～10日 総務文教常任委員会行政視察  
(山口県周南市)
- ” 観光産業常任委員会行政視察  
(岡山県真庭市)
- 19日 消防団秋季点検

発行 片品村議会

責任者 飯塚 美明

編集

議会広報編集特別委員会

編集

議会広報編集特別委員会

印刷所 笠原印刷(有)



村民運動会（片中校庭）



大洗町との友好都市協定調印式（役場）

### ○傍聴のお知らせ

**12月議会を傍聴しませんか！** 次回定例会は、12月5日（金）の予定です。一般質問は、開会初日です。なお、一般質問の質疑応答の全文は、片品村公式ホームページにて閲覧できます。写真はフルカラーです。 URL <http://www.vill.katashina.gunma.jp/>

### 編集後記

読者の皆様、日頃から、議会だよりを楽しみにして頂きまして、誠にありがとうございます。今回のアンケート調査（11ページ参照）を通じて、議会だよりへの村民の関心は高く、その充実に期待していることが分かりましたので、安堵の気持ちと共に、さらなる編集努力を課せられていると感じているところであります。

お気づきかと思いますが、一年前の議会だよりよりその発行が一月近く早くなりました。このことも、作成スピードとして、読者の厳しい目にさらされていく点と捉えています。誌面構成はどうかでしょうか。分かりやすくかつ読みやすいものにしていきます。

九月議会ならではの掲載項目の多さがあるとはいえ、誌面に写真や空きスペースが比較的少なかつたことは今後の課題としたいと思います。皆様、今後もしろくお願いいたします。

【議会広報編集特別委員長 戸丸 廣安】

### 議会広報編集特別委員会

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 戸丸 廣安 |
| 副委員長 | 星野 千里 |
| 委員   | 飯塚 美明 |
| 委員   | 星野 精一 |
| 委員   | 入澤登喜夫 |
| 委員   | 千明 道太 |
| 委員   | 梅澤 志洋 |